

各位

健康サポート機能が地域住民の健康づくりを支援（アンケート調査結果）

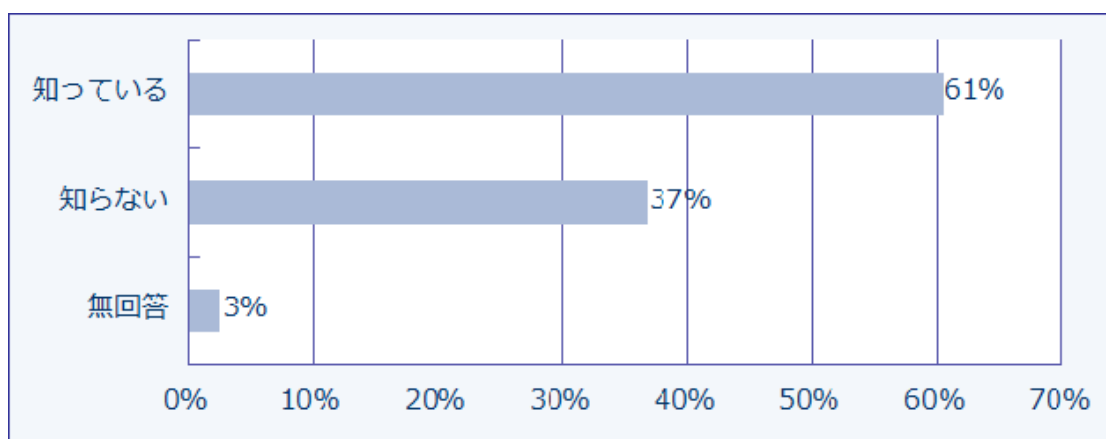
～届出開始から約2年、健康サポート薬局100店舗を超えて～

- 当社グループは、地域住民の主体的な健康づくりを支援する薬局として、健康サポート機能が地域住民にどれだけ認知されているか、また健康意識の向上、行動変容につながっているかを明らかにすることを目的として、アンケート調査を実施しました。本アンケート調査は、当社グループの健康サポート薬局で開催された健康相談会の参加者38名および、2018年3月末時点で半年以上健康サポート活動をおこなっている44店舗の管理薬剤師を対象としています。
- 今回の調査結果により、①相談窓口としての薬局が認知されつつある、②健康に関する情報発信などの機能を期待されている、③地域住民の健康に対する意識に変化がみられる、以上のことが明らかとなりました。また、健康サポート薬局として各種相談会などを実施することにより、受診勧奨につながった事例も多くあったことから、引き続き、医療機関やケアマネージャーなどと、「健康」をキーワードとした多職種連携を図りながら、地域包括ケアシステムの一環として、健康サポート機能を発揮することが重要であると考えています。また、健康寿命延伸や予防の観点から、未病の方を含めた地域住民への継続したアプローチをおこなってまいります。

<アンケート結果 まとめ>

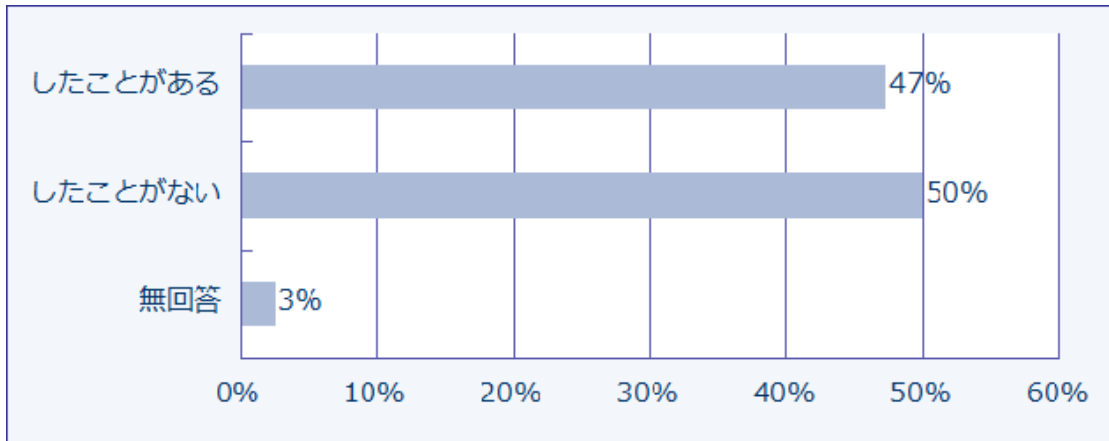
(1) 相談会参加者にアンケートを実施（調査期間2018年8月1日～31日 n=38）。

- 薬局で健康や運動・栄養のことなど、処方箋薬以外の相談ができることを知っているか



61%が薬局で健康や運動・栄養のことなど、処方箋薬以外の相談ができることを知っていると回答しており、相談窓口としての薬局が認知されつつある。

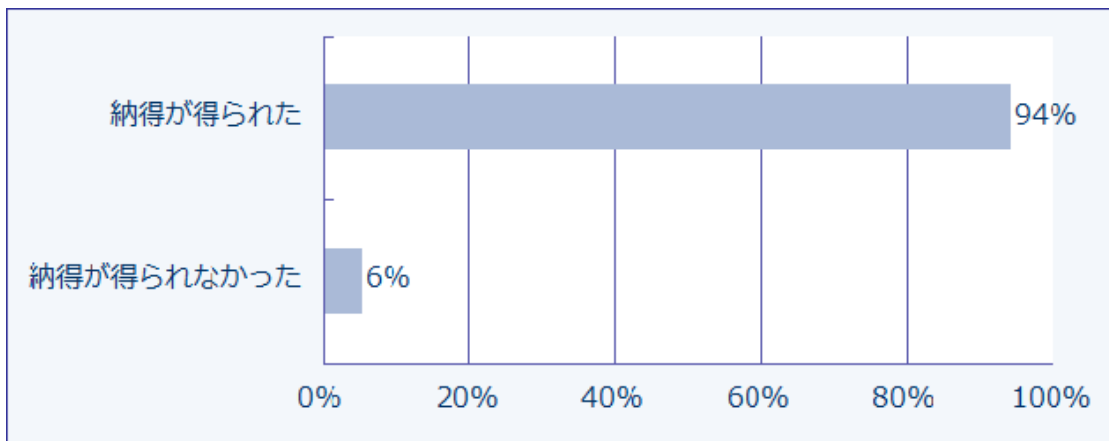
- 薬局で健康や運動・栄養のことなど、処方箋薬以外の相談をしたことがあるか



47%の方が健康や運動・栄養などについて相談したことがあった。

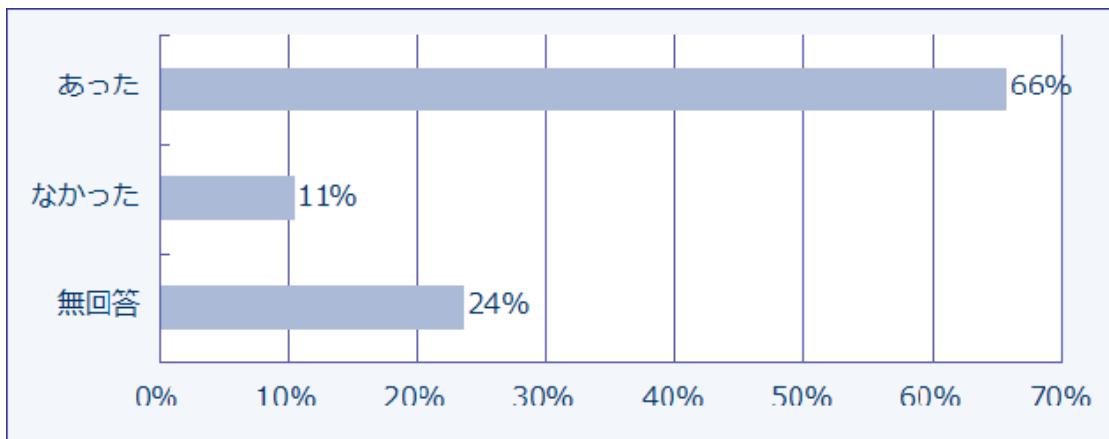
加えて処方箋薬以外の相談ができることを知っているとは回答した方々においては、その8割が実際に相談をしていた。

- 薬局で健康や運動・栄養のことなど、処方箋薬以外の相談をした結果、問題解決や納得が得られたか？



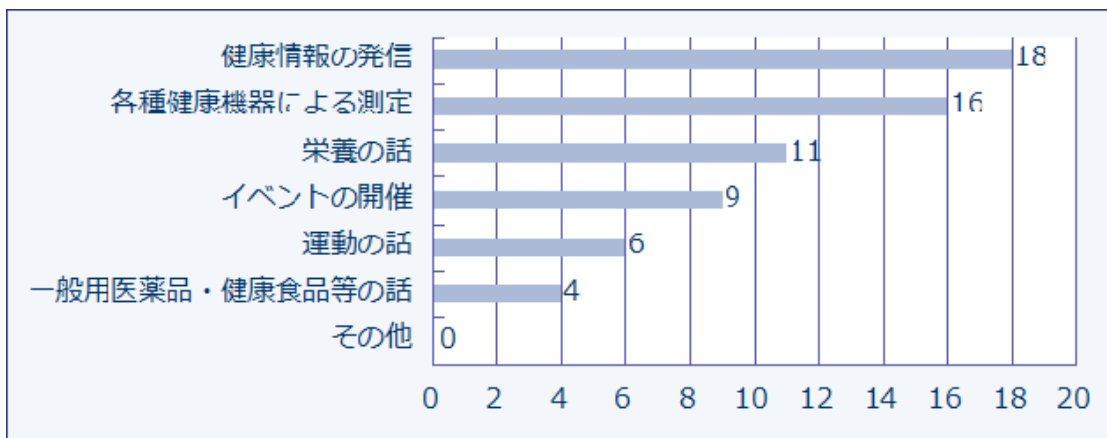
上段質問で「相談したことがある」と答えた方のうち、94%の方が納得が得られたと回答があった。

- 健康や運動・食事について、意識に変化はあったか



66%の方が健康や運動・食事について意識的な変化があると回答。健康に対する意識や健康リテラシー向上につながることを示唆された。

- 健康を維持するための薬局の活用法として、薬局にどのようなことを期待しますか？（複数回答）



健康情報発信や健康機器による測定など、「健康」をキーワードとする取組みへの期待が多く見られた。次に食や栄養に対する関心が高いことがうかがえ、薬局における管理栄養士との連携を視野に入れた活躍も期待される場所である。健康サポート機能発揮への期待は大きく、それに応えることで、地域住民の健康意識向上や行動変容につながっていくと考えられる。

- (2) 2018年3月末時点で半年以上健康サポート活動を行っている44店舗の薬剤師に活動状況について調査を実施。

- 店舗スタッフの意識（モチベーション）に変化があったか

	全体
①とてもあがった	3
②あがった	31
③かわりなし	10
④さがった	0
意識があがった割合	77.3%

相談会などを通じて患者さんやそのご家族、地域の方々との接点が増えることで、要指導医薬品や健康、予防・介護にかかる相談も増加しており、健康サポート活動を通じて、スタッフのモチベーションを含め意識の向上が見られる。

OTC・介護用品などの取り扱いが増えたことで、薬剤師の意識・知識が向上し、相談に乗りやすい環境になったことも相談が増えた要因と考えられる。

- 実施した各種相談会などの回数の合計について

	全体
健康サポート薬局取得後に実施した「相談会等の回数の合計」	759

健康サポート薬局の取得後に、薬の相談会、健康相談会、各種測定機器を利用した測定会、糖尿病関連指導など、44店舗で合計759回の健康相談・測定会などを実施した。

● 「受診勧奨」について

	全体
健康サポート薬局取得後に実施した「受診勧奨の回数の合計」	211

血圧が高いなどの理由で受診勧奨した件数が全体で211件。

健康寿命延伸や予防の観点より未病の方へのアプローチも重要であり、地域住民への更なる働きかけが必要であるとする。

● 医療機関などとの連携に変化があったか

	全体
①連携が多様化した	13
②連携の機会が増えた	16
③医療機関からの連絡が増えた	12
④変化なし	21
連携に変化のあった割合	52.3%

地域の医療機関との連携については、半数の薬局において従来の連携先との情報交換の機会増に加え、新たな医療機関との定期的なコミュニケーションが増えるなどの変化が見られた。

ケアマネージャーや居宅介護支援事業所などへの紹介件数、連携先が約半数の薬局で増加した。

当社グループは、従来から“みんなの健康ステーション”として、地域に密着した健康拠点としての薬局づくりを推進しており、健康サポート薬局に関しては2016年10月の届出開始以降、積極的な活動を実施してまいりました。本アンケート調査の結果をもとに、地域住民の健康増進を図るために今後より一層強化すべき点を把握し、さまざまな取り組みを積極的に推進してまいります。

(ご参考)

● 健康サポート薬局とは

「かかりつけ薬剤師、薬局」の基本的な機能を備えたうえで、地域住民の主体的な健康づくりを積極的に支援する薬局です。医薬品などに関するアドバイスや健康相談、多職種連携などの取り組みについて一定の基準を満たし、届出の受理を経て健康サポート薬局であることを表示することができます。（本制度は、2016年4月1日施行、同年10月1日から届出開始）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルホールディングス株式会社 広報 IR 部 行徳
 福岡市中央区天神二丁目14番8号
 TEL : 092-713-9181